

平成20年度環境ホルモン調査結果について

平成21年2月 日
島根県環境生活部環境政策課

島根県では、平成14年度から、魚類に対する内分泌攪乱作用が確認されている化学物質（いわゆる環境ホルモン）である、「ノニルフェノール」と「4 t オクチルフェノール」について、県内の水環境中の濃度実態調査を実施しています。

平成20年度は下記のとおり15地点で調査を行いました。2物質とも、予測無影響濃度を超える地点はありませんでした。

1. 調査内容

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| (1) 調査物質 | ノニルフェノール、4 t オクチルフェノール |
| (2) 調査地点 | 河川2地点、湖沼3地点、海域10地点 |
| (3) 調査媒体 | 水質 |
| (4) 試料採取 | 平成20年12月2日～平成21年1月21日 |
| (5) 調査方法 | 「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル（平成10年10月 環境庁）」 |

2. 調査結果

下表のとおり、ノニルフェノール、4 t オクチルフェノールとも、すべての地点で不検出（検出限界値未満）でした。

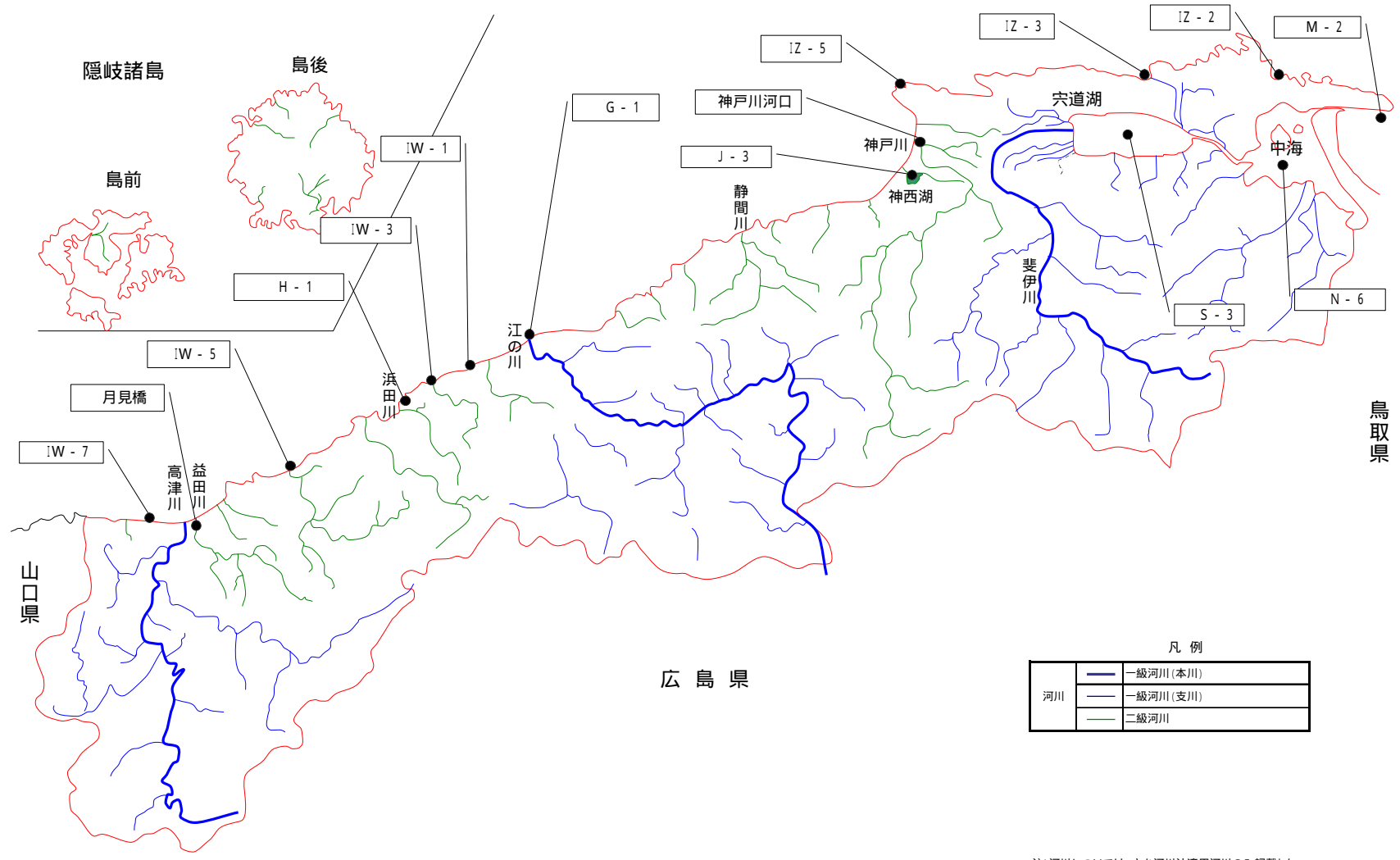
表 平成20年度内分泌攪乱化学物質濃度実態調査結果

	採水地点	採水年月日	測定結果	
			ノニルフェノール	4-t-オキシルフェノール
	神戸川(河口)	H20.12.5	不検出	不検出
	益田川(月見橋)	H20.12.3	不検出	不検出
	中海(N-6)	H20.12.2	不検出	不検出
	宍道湖(S-3)	H20.12.2	不検出	不検出
	神西湖(J-3)	H20.12.9	不検出	不検出
	浜田川河口海域(H-1)	H20.12.17	不検出	不検出
	美保湾(M-2)	H20.12.15	不検出	不検出
	江の川河口海域(G-1)	H21.1.21	不検出	不検出
	北浦海水浴場(IZ-2)	H20.12.15	不検出	不検出
	古浦海水浴場(IZ-3)	H20.12.15	不検出	不検出
	おわし海水浴場(IZ-5)	H20.12.15	不検出	不検出
	波子海水浴場(IW-1)	H21.1.21	不検出	不検出
	国分海水浴場(IW-3)	H21.1.21	不検出	不検出
	田の浦海水浴場(IW-5)	H20.12.17	不検出	不検出
	持石海水浴場(IW-7)	H20.12.17	不検出	不検出
	予測無影響濃度($\mu\text{g}/\text{L}$)		0.608	0.992
	検出限界値($\mu\text{g}/\text{L}$)		0.3	0.03

予測無影響濃度：有害性評価のための動物実験において、メダカの性分化に影響を与えなかった最大濃度を「最大無作用濃度」とし、この濃度に安全係数(1/10)を乗じることによって求めた値で、魚類を中心とする生態系に影響を及ぼす可能性がないと予測される濃度。

測定地点は別図のとおり。

平成20年度 内分泌攪乱化学物質実態調査 調査地点



凡例

河川		一級河川(本川)
		一級河川(支川)
		二級河川

注) 河川については、主な河川法適用河川のみ記載した。